本庄繁長の没400年祭の企画を話し合った実行委員会＝村上市三之町のクリエート村上

本庄繁長 没後400年

村上の英雄顕彰

戦国時代の村上城主で、上杉謙信に仕えた武将本庄繁長の偉業をたたえようと、村上市民らが没後400年に当たることし、実行委員会を発足させ、4月から記念イベントを開く。講演会の開催や福島市への墓参ツアーなどを計画している。

市民有志 講演、福島ツアー企画

実行委は村上市内外の歴史愛好家ら17人が参加した。「魅力的な人物であるにもかかわらず、市民の中にはよく知らない人が多い」（堀田亨事務局長）ことから、イベントなどを通して繁長を広く知ってもらう。

1年がかりの「没400年祭」は4月21日、繁長ゆかりの耕雲寺（村上市門前）で行われる出陣式が皮切り。

真剣でわら俵を切り落とす截断道演武のほか、市郷土資料館（おしゃぎり会館）の前館長松山勝彦さんが「郷土村上が生んだ最強の戦国武将本庄繁長」と題して講演する。

9月15日には、繁長が眠る福島市の長楽寺で営まれる400回法要に参列するバスツアーを企画する。

また、小・中学生にも分かりやすい小冊子の作成や、講演会、シンポジウムなども開催する。

繁長と関係の深い市内外の城跡保存会など他団体との交流も予定している。

繁長の家臣を先祖に持つ実行委の飯沼与三太委員長（69）は「繁長は村上の英雄で、神さまみたいな人。多くの市民に知ってもらいたいし、これを機会に一緒に勉強していきたい」と話している。

4月21日の出陣式は午後1時半から。入場無料。事前申し込みも不要。

本庄繁長の木像（長楽寺所蔵）

本庄繁長　1539（天文8）年生まれ。13歳で本庄家の当主になると上杉謙信の家臣となり、川中島の戦いなど謙信とともに各地を転戦、多くの武功を挙げた。68（永禄11）年、武田信玄の求めに応じて上杉家からの独立をもくろみ挙兵。謙信は繁長に猛攻を加えたが、落城することなく東北の伊達氏らの仲介で和議が成立した。以後、上杉家に従う。生涯で80回以上の合戦に臨み、負けることはなかった。1613（慶長18）年、福島城で没した。